

出雲市立みなみ小学校 心に残る文化財子ども塾

5月28日(火)には、出雲市立みなみ小学校に伺いました。6年生23名のみなさんです。4校時は和同開珎作りを行い、6校時には実物大の大仏パネルを組み立てました。和同開珎作りは、ナベで溶かした合金をシリコン製の鋳型に流し込み、銀色に輝く和同開珎を作り出す体験。大仏パネルは、1辺1m四方のシート188枚を台座の部分から上へ上へと積み上げ、総高18mの立派な大仏さまを完成させるもの。学校のふだんの授業ではなかなかできないこういう体験活動を通して、歴史や文化、文化財に興味を持ってくれると嬉しいです。



▲ 学校周辺の遺跡についてクイズを行いました ▲ 和同開珎作りに真剣に取り組んでいます。



▲ 協力して大仏パネルにチャレンジ！ ▲ 完成後、好きな所に座って記念撮影です。

【学習後の感想】

- 奈良の大仏の大きさが心に残った。
- まさか昔の作り方で昔のお金がつくれるとは思っておらず、楽しかった。
- 大仏の中は空洞と知れて良かった。クイズも楽しかった。
- 奈良時代の人々はこのような大きな大仏を作っていることを知ってすごいと思いました。
- いろいろなクイズで勉強がきてたくさんのことを学びました。

出雲市立みなみ小学校6年生の皆さん、先生方、ありがとうございました！